

遊美

- 1 木村 利とささんの作品と作品についての言葉
- 2 作家探訪 迫 二郎先生
- 3 美に遊ぶ
- 4 美術鑑賞旅行
- 5 どっちがどっち？
いわいとしお×岩井俊雄
絵画教室
- 6 心に残る私の一点
あとがき



木村 とさ 利「活力あるサンマルコ広場」

2007年／淡彩画・スケッチ／F6号

旅は建築士を育てると信じ、新婚旅行を皮切りに世界各地を歩いてきた。

この作品も2007年10月に「カプリ島とナポリ、ポンペイ遺跡を巡るイタリアの魅力のすべて九日間」のツアーに妻と参加した時サンマルコ広場での作である。私は三度目のベネチアでサンマルコ寺院もベネチアングラス工房も既に二度見学している。そこで添乗員にお願いしてその時間をフリータイムにして頂いた。絵を描くこの一時間が勝負。広場は人、人で混み合っていた。中央より少し横に場所を

確保し、段ボールの箱を組立て据付ける。これが私のイーゼル。人混みの人達は何が始まるのかとガヤガヤし出す。私が絵を描くのだと分かると彼らは親切に前方を開けてくれた。みともない絵は描けない、と心の中で呟く。周りの話し声が気にならなくなって三十分。完成する。勿論淡彩画で色も付けてある。ずっと見ていた一人が微笑みかける。私も緊張から解きはぐされて微笑み返す。言葉が通じないのが残念。しかしこの情景がいつまでも印象強く残っている。
(水戸市在住)